

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL <0566>22-2111
FAX <0566>25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 野村紀代彦
幹事 山下雅則
会報委員長 藤井邦彦

2021 ~ 2022年度 国際ロータリー シェカール・メータ 会長テーマ

Serve to Change Lives 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3142回例会プログラム

[当年度=19回目；当月=3週目]

2022年（令和4年）1月17日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:00 〈食事〉
12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……………〈副会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱
……………それこそロータリー
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 副会長挨拶並びに副会長報告
7. お祝い
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)
8. 幹事報告
9. 出席報告
10. 委員会報告
11. ニコニコボックス報告
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(1/24) ……
卓話 「元気・笑顔・希望のまちづくり」
講師 刈谷市長 稲垣 武 様
(紹介者 内藤 昇 会員)
※第2 四半期皆出席の発表 (出席委員会)
(1/31) ……休会
(定款第7条第1節 (d))

2. クラブフォーラム……………〈研修情報委員会〉

- 13:00 卓話「クラブとして考えなくてはならない
危機管理について」
講師 地区危機管理委員会
委員長 寺本 善雄 様
(名古屋みなとRC)
(紹介者 豊田 貴久 会員)
13. 謝辞
14. 点鐘……………〈副会長〉
15. 閉会宣言
13:30 16. 散会

ゲ ス ト

新会員予定者 さわだ まさひで
澤田 昌秀 様

出 席

会員総数 99名 出席免除 26名
出席義務者+免除者の内例会出席者 87名
欠席 5名 出席率 94.25%
前々回 (12/20) の修正出席率 100%

副 会 長 報 告

- 1) 米山記念奨学会より米山功労者感謝状が届きました。
① 第19回 嶋津 孝久 会員
② 第7回 神谷 光義 会員
③ 第7回 市川 裕大 会員
④ 第3回 鈴木文三郎 会員
⑤ 第2回 鈴木 豊 会員
⑥ 第1回 近藤 純子 会員
です。



幹 事 報 告

- 1) 1月1日より、ロータリーレートは、115円になりました。
2) 名古屋和合ロータリークラブ創立50周年・名古屋東山ロータリークラブ創立25周年記念事業「One Asia One Rotary キックオフコンサート…八神純子と共に」のご案内です。本日、メールボックスに

チラシを配布させて頂きました。チケットをご希望の方は1月24日までに私もしくは事務局までご連絡下さい。

委員会報告

●雑誌委員会

1) 今月のロータリーの友の読みどころを紹介させて頂きます。

今月の表紙のタイトルは『協見運転はしないで!』です。いくら興味があっても運転中は運転に集中してください。人生においては少々の協見くらいないと味気ないです。

さて、今月は職業奉仕月間です。今回の記事ではカトリック司祭、教育機関、獣医の方々のコロナ禍における仕事との関わり方が掲載されており今月も深く拝読させて頂きました。

次に国際大会の魅力について掲載されています。ここ数週間でのオミクロン株の流行状況の中、記事の構成から時間が経っていますので現実の参加は不可能だと思います。オンラインでの参加も可能のことですがやはり古い人間なもので膝を突き合わせて話す事が大切だと思っていますのでやはり現地に行く事が一番だと思います。早く自由に参加できる日が来ることを願ってなりません。

そして、縦組みのCSR/SDGsについての記事に興味深く拝読させて頂きました。最近、息子通う幼稚園でもSDGsについての課題に取り組んでいるようです。それもあって、我が社でもSDGsを取り入れる活動を始めました。よくわからない事なのでやらないのではなく、分からないからやるのが私の性分ですが、今回の記事を読んで別の方向からSDGsを見るきっかけとなりました。そして、最も興味があったのは縦組みの24ページの記事です。会員を呼ぶときの呼称が『君、さん』ではなく『会員』と書かれていてある意味新鮮な感じを受けました。

最後にコロナ発生直後の2020年から2021年、2022年の1月号を比較してみました。やはり年を追う毎にロータリーの友のページ数が減少しているのが見て取れます。この部分からも早く以前の状態に戻って欲しいと感じました。

副会長あいさつ

中林 久美



寒中お見舞い申し上げます。

皆様年末年始はいかがお過ごしだったでしょうか。年末わたくしは、大掃除に明け暮れており、おせち料理は蓮根の煮酢和えと、栗きんとんだけ作り、あとは全部従妹が作ってくれました。大みそかの紅白歌合戦はこの何年かは、掃除疲れてなのか、お酒を沢山頂きます

ぎてわかりませんが、見たことがありません。

元旦は、市原神社参拝し、青空が広がり新しい年のすがすがしさを楽しむことができました。でも心のどこかで何となく重く感じるものがあり、新年の思い切り湧き立つ気持ちにはならなかったように思います。新型コロナウイルス禍が一層また深刻になったからでしょうか。でもわたくしは、長男夫婦に留守番をさせ、妹家族と孫を連れて2年ぶりに1月2日の早朝から、4日まで志賀高原の焼額山にスキーに行き来しました。天気予報3日間とも雪でしたが、1日目と2日目は晴天に恵まれ、真っ青な空と真っ白な雪で気持ちがスッキリと晴れやかになりました。ホテルの方が私は函館から応援でこちらに来ていますが、ゲレンデはマイナス5度からマイナス8度くらいですが、積雪量も多くパウダースノーで、ベストコンディションですよ。と言っていました。

わたくしがスキーを始めたのは、小学3年生からでその年の冬休みから小学4年生の春休みまでの4回を6日間づつ名古屋のスクールに入れてもらい、1人で行っておりました。その後30年ほどブランクがありましたが、妹の勧めで、四十の手習いで復活しました。毎年年末から行くこともありましたが、少しも上達はしませんでした。今回つくづく思いましたが、下手になるほうが強く現状維持が大変な事が良くわかりました。

わたくしのスキーレベルですが、膝はがくがく、腰が引けて不格好です。詳しくは杉浦芳一会員にお聞きください。ただし12年ほど前のレベルですが、杉浦会員の白馬の別荘に泊めて頂きスキーに連れて行って頂いたことがあります。転んで板が外れておいて行かれそうになったことがあります。その程度です。スキーといえば、直接お話をうかがったことはありませんが杉山会員がインストラクターの資格をお持ちだと聞いております。わたくしのこれからのスキーのコツが有りましたらご指導ください。

「冬来たりなば春遠からじ」
良い年になりますように。



還暦のお祝い



小川 耕示 会員

お祝い

1月の会員の誕生日…神谷光義、原田光二、橘典子、岡本巧、兵藤文男、中根秀樹、渡部亨、小川耕示、石川泰隆会員。

配偶者の誕生日…杉山恵美子（欣輝）、原田トモ子（光二）、杉浦眞佐子（世志朗）、中根良美（秀樹）、鈴木ゆかり（文三郎）、小澤敏子（陽一）、石川将典（友美）、石川愛（泰隆）、新海好美（伸二）、中川久子（耕兎）様。

結婚記念日…池田憲司、加藤哲也、杉浦芳一、宇佐見一美、角谷広高、遠藤直樹、磯村巖会員。

1月度入会記念日…杉浦世志朗、鈴木文三郎、下谷敏朗、加藤大志朗会員。

クラブフォーラム



卓話

「クラブとして考えなくては
ならない危機管理について」

副題「青少年を守る
ロータリーの危機管理」

地区危機管理委員長 寺本 善雄 様

ロータリーでは「危機」を、「ロータリークラブ、ロータリアンに取って、『好ましくないことのすべて』」と定義しております。

2004年ロータリーの大阪世界大会で、ある国のパストガバナーがセクハラ事件を起こし逮捕され、巨額の賠償請求をされたとの話が出て、大問題になりました。これに対してRIは、虐待及びハラスメントから青少年交換学生を守るために、2006年、「青少年保護規定」を発表し、各地区に「危機管理委員会」の設置を義務付けました。これが、ロータリーの危機管理委員会の始まりです。

その後2016年には、ロータリーのプログラムであるIA、RA、RYLAに、2019年には、地区やクラブが実施する全ての青少年奉仕プログにまでその範囲を広げております。

2020年、RIは「地区危機管理計画」の策定を推奨しました。これは、緊急事態が発生した際に適切に対処で

きるよう一連の手順をまとめたもので、この策定を現在中止されている青少年交換再開の条件としております。

前年度、地区危機管理委員会では、このRIの要請を受けて、「危機管理の指針」をまとめました。a「事故」、b「感染症」、c「災害」、d「虐待およびハラスメント」、e「犯罪による被害および加害」の5つの項目で危機発生時の基本的対応手順を決めております。

決めごとを作りましても、危機に際して適切に対応するには、危機の内容を想定した事前のシミュレーションや訓練が大変重要になります。

現在、南海トラフ地震は今後30年以内に70%の確率で起きると言われております。

今年9月21日に危機管理セミナーをリモートで開催し、「あるロータリークラブが、知多半島の海岸で小学生を連れて青少年奉仕事業を実施したところ、南海トラフ地震が発生した」という紙芝居のドラマを見て頂き、討論して頂きました。

このセミナーの成果物として、「青少年対象事業チェックリスト（地震発生を想定）」を作っております。事業を実施する際に活用して、青少年の安全を守ることに万全を期して頂きたいと思っております。